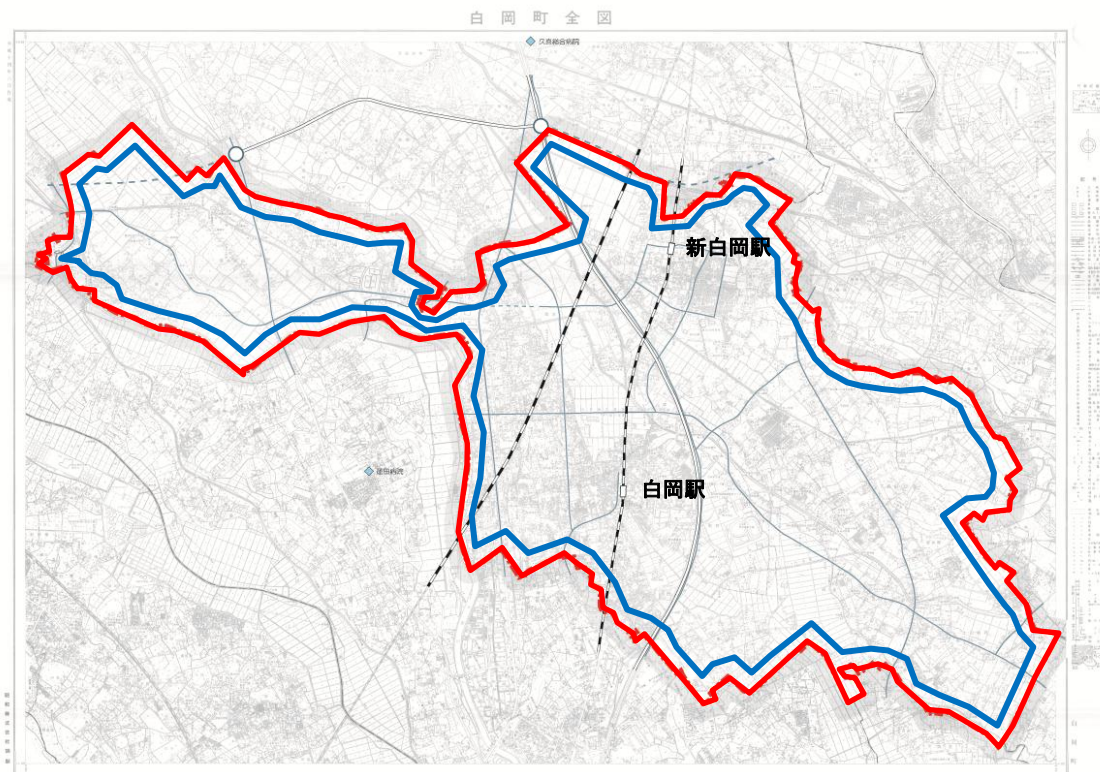


# 想定1 本市におけるデマンド交通の導入シミュレーション

【運賃を**300円**と設定し、年間利用者数を12,000人と想定】

## 1 運行形態：区域運行型



## 2 運行内容

(1) 運行区域	運行区域は、市域全域とする。 車両2台の概ねの運行範囲は、JR宇都宮線を境に東西に分ける。 [東部13.73km <sup>2</sup> 西部11.15km <sup>2</sup> ]
(2) 運行車両	セダンタイプ4人乗り 2台
(3) 運行日	月曜～土曜（年間約300日 月間約25日）日曜、祝日、年末年始を除く。
(4) 運行時間	午前8時30分～午後5時30分
(5) 運行必要人員	運転手2人 システムオペレーター2人（実人員）

## 3 利用者数の推計

利用者数の推計 【北本市デマンド交通の平成24年度の利用実績（一日一台当たりの平均利用者数20.6人）を参考に推計】	(1) 運行車両	セダンタイプ4人乗り 2台
	(2) 運行日	月曜～土曜（年間約300日）日曜、祝日、年末年始を除く。
	(3) 運行時間	午前8時30分～午後5時30分
	本市における想定	
	一日当たり	40人（車両1台当たり 20人）
	一月当たり	1,000人（車両1台当たり 500人）
	一年当たり	12,000人（車両1台当たり6,000人）

## 4 総事業費（概算）

(1) 初期投資費用	ア オペレーションシステム導入費	50万円	
	イ パソコン購入費	30万円	
初期投資費用合計80万円			
(2) 維持管理費用	ア 車両購入費と車両改造費の一年当たりの負担額（5年間の使用）	(300万円+100万円)×2台=800万円/5年=160万円	
	イ 車両維持管理費	30万円×2台=60万円	
	ウ 車両燃料費	60万円	
	エ 運転手人件費	18,000円×300日×2人=1,080万円	
	オ オペレーションシステム管理費	200万円	
	カ オペレーター人件費	8,000円×300日×2人=480万円	
	キ 電話回線使用料、サーバ運営費、車載機レンタル料	160万円	
	ク 周知啓発費	60万円	
			維持管理費用合計2,260万円

初期投資費用80万円+維持管理費用2,260万円=総事業費2,340万円

## 5 総事業費の負担

(1) 利用者負担 (運賃)	運賃種別及び運賃収入 ※利用者数を年間12,000人（一日40人）で試算	
	ア 一般 @300円×1,800人（15%）	= 54万円
	イ 高齢者 @300円×8,400人（70%）	= 252万円
	ウ 障害者等とその介助者	
	@300円×600人（5%）	= 18万円
	エ 小学生 @300円×600人（5%）	= 18万円
オ 未就学児 無料 ×600人（5%）	= 0	
		運賃収入合計342万円
(2) 協賛金等	企業等からの協賛金、広告収入	現時点では計上せず
(3) 収支バランス	収入（利用者負担）－支出（総事業費）	※収支率 342万円－2,340万円=△1,998万円 14.6%
(4) 公費負担	行政からの補てん	※利用者一人当たりの公費負担
	1,998万円	1,998万円÷12,000人
	↑ 国土交通省の補助金あり	= 1,665円

## 6 実施主体

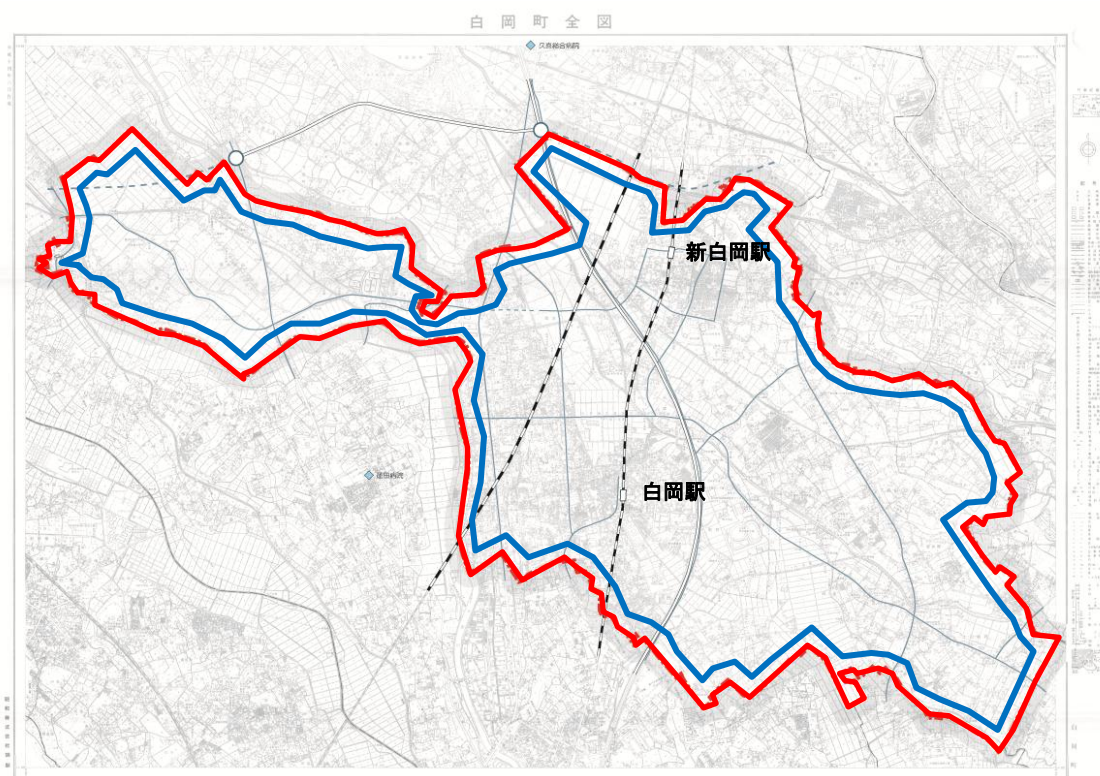
(1) 事業実施主体	白岡市
(2) 運行主体	交通事業者



## 想定2 本市におけるデマンド交通の導入シミュレーション

【運賃を500円と設定し、年間利用者数を12,000人と想定】

### 1 運行形態：区域運行型



### 2 運行内容

(1) 運行区域	運行区域は、市域全域とする。 車両2台の概ねの運行範囲は、JR宇都宮線を境に東西に分ける。 [東部13.73km <sup>2</sup> 西部11.15km <sup>2</sup> ]
(2) 運行車両	セダンタイプ4人乗り 2台
(3) 運行日	月曜～土曜（年間約300日 月間約25日）日曜、祝日、年末年始を除く。
(4) 運行時間	午前8時30分～午後5時30分
(5) 運行必要人員	運転手2人 システムオペレーター2人（実人員）

### 3 利用者数の推計

利用者数の推計 【北本市デマンド交通の平成24年度の利用実績（一日一台当たりの平均利用者数20.6人）を参考に推計】	(1) 運行車両	セダンタイプ4人乗り 2台
	(2) 運行日	月曜～土曜（年間約300日）日曜、祝日、年末年始を除く。
	(3) 運行時間	午前8時30分～午後5時30分
	本市における想定	
	一日当たり	40人（車両1台当たり 20人）
	一月当たり	1,000人（車両1台当たり 500人）
	一年当たり	12,000人（車両1台当たり6,000人）

### 4 総事業費（概算）

(1) 初期投資費用	ア オペレーションシステム導入費	50万円	
	イ パソコン購入費	30万円	
初期投資費用合計80万円			
(2) 維持管理費用	ア 車両購入費と車両改造費の一年当たりの負担額（5年間の使用）	(300万円+100万円)×2台=800万円/5年=160万円	
	イ 車両維持管理費	30万円×2台=60万円	
	ウ 車両燃料費	60万円	
	エ 運転手人件費	18,000円×300日×2人=1,080万円	
	オ オペレーションシステム管理費	200万円	
	カ オペレーター人件費	8,000円×300日×2人=480万円	
	キ 電話回線使用料、サーバ運営費、車載機レンタル料	160万円	
	ク 周知啓発費	60万円	
			維持管理費用合計2,260万円

初期投資費用80万円+維持管理費用2,260万円=総事業費2,340万円

### 5 総事業費の負担

(1) 利用者負担 (運賃)	運賃種別及び運賃収入 ※利用者数を年間12,000人（一日40人）で試算	
	ア 一般 @500円×1,800人（15%）	= 90万円
	イ 高齢者 @500円×8,400人（70%）	= 420万円
	ウ 障害者等とその介助者	
	@500円×600人（5%）	= 30万円
	エ 小学生 @500円×600人（5%）	= 30万円
オ 未就学児 無料 ×600人（5%）	= 0	
		運賃収入合計570万円
(2) 協賛金等	企業等からの協賛金、広告収入	現時点では計上せず
(3) 収支バランス	収入（利用者負担）－支出（総事業費）	※収支率 570万円－2,340万円=△1,770万円 24.4%
(4) 公費負担	行政からの補てん	※利用者一人当たりの公費負担
	1,770万円	1,770万円÷12,000人
	↑ 国土交通省の補助金あり	= 1,475円

### 6 実施主体

(1) 事業実施主体	白岡市
(2) 運行主体	交通事業者